

ひ お ま

2010.

12

vol.68

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

平成21年度の決算を公表します	2
日置市の連結財務諸表を作成しました	6
行政改革の進ちよく状況について	10
乗合タクシー路線拡大へ	12
まちの話題	13
市民の広場	22



平成21年度 市の決算を 公表します

平成21年度の一般会計の決算規模は、歳入総額が二百四十二億五千三百三十八万八千円（前年度比104.6%）、歳出総額が二百三十五億二千七百七十七万六千円（前年度比103.7%）で、国の経済対策等により、歳入歳出ともに前年度を上回る決算額となり、歳入歳出の差引額は七億二千五百五十六万二千円となりました。このうち平成22年度へ繰り越した事業の財源にしなければならぬ額を除いた実質収支額は四億八千八百九十九万八千円の黒字となりました。

歳入では、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金等や地方交付税の増額、歳出では、職員の定員適正化計画による職員数の削減や財政健全化に資するための市長等職員の給料減額など、内部努力による歳出削減対策により、財源調整のための財政調整基金（市の預金）を2年連続取り崩さずに運営ができました。その結果、財政調整基金は前年度の決算積立などにより、残高が三十二億八千七百五十万九千

市民の皆さまに納めていただいた税金や、国・県からの補助金などの歳入は「地理的特性と歴史や自然との調和を生かしたふれあいあふれる健やかな都市づくり」を目指して、わたしたちの生活をよりよくするために、さまざまな形で使われています。

このたびの12月議会定例会において、市の平成21年度決算が認定されましたので、地方自治法第233条第6項の規定に基づき決算状況を公表いたします。

円（人口一人当たり六万三千円）となり、二億三千七百七十七万七千円の増となりました。

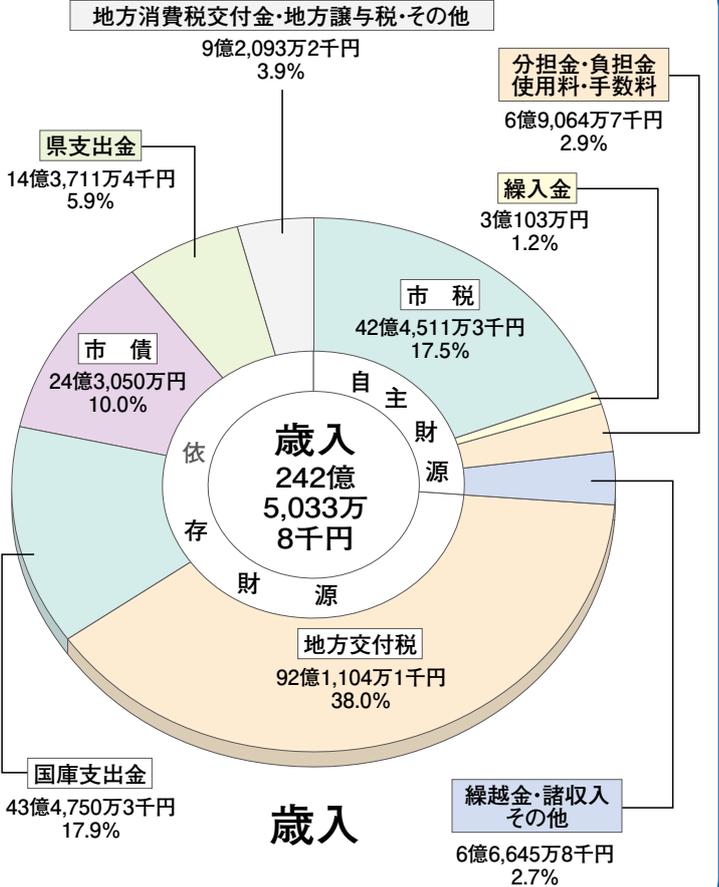
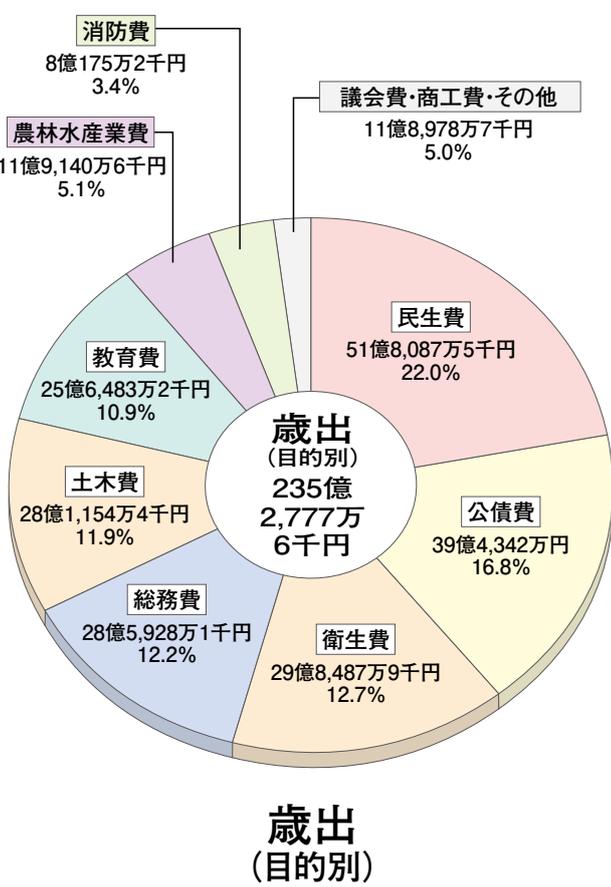
市債残高（市の借金）については、平成21年度末で三百三十億円（人口一人当たり六十四万円）となり、平成20年度末と比較して九億円を減少させ、公債費の抑制に努めました。

今後、これまで行ってきた歳入歳出改革の努力を決して緩めることなく、引き続き集中改革プランに基づき行財政改革を推進し「日置市総合計画」を着実に進めながら、将来にわたって弾力的で足腰の強い健全な財政構造の構築に努めていきます。

歳入

歳入では、地方税などの自主財源が全体の24.3%で、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が75.7%となっており、現行制度上、依然として自主財源に乏しい財政状況にあります。

歳入の主なものでは、景気の低迷



■平成21年度に実施した主な投資的事業

共聴施設整備事業（日吉地域、吹上地域）
ブロードバンドゼロ地域解消事業（伊集院地域、吹上地域）
地域介護福祉空間整備推進交付金事業（東市来地域）
安心子ども基金事業 保育所緊急整備（伊集院地域、吹上地域）
合併浄化槽設置整備事業（市内全域）
かごしま茶産地拡大チャレンジ事業（東市来地域）
強い水産業づくり交付金事業（吹上地域）
県営かんがい排水事業（日吉地域）
河川工作物応急対策事業（伊集院地域、吹上地域）
県営中山間地域総合整備事業（伊集院地域、東市来地域）
広域営農団地農道整備事業（吹上地域）
江口浜海浜公園整備事業（東市来地域）
一般道路整備事業（市内全域）
道整備交付金事業（伊集院地域、東市来地域、吹上地域）
地方道路整備臨時交付金事業市道整備（日吉地域、吹上地域）
半島振興道路整備事業市道整備（伊集院地域）
辺地対策事業市道整備（伊集院地域、吹上地域）
過疎対策事業市道整備（東市来地域、日吉地域、吹上地域）
地域活力基盤創造交付金事業市道整備（市内全域）
地区振興計画に基づく地域づくり振興事業（市内各地区館）
特殊地下壕対策事業（市内全域）
土地区画整理事業（徳重地区・湯之元第一地区）
公営住宅建設事業（日吉地域複園住宅）
防火水槽整備事業（伊集院地域、東市来地域、日吉地域）
消防ポンプ自動車等整備事業（東市来地域、日吉地域）
小学校校舎耐震診断業務（市内全域）
伊集院中学校校舎建設事業（伊集院地域）
日置南学校給食センター建設（吹上地域）

歳出(目的別) 歳出の目的別では「民生費」が五十一億八千八百七十五千円で、全体の22%を占めています。これは、児童福祉、高齢者福祉および障害者福祉、生活保護費な

により、地方税の市町村民税の個人所得、法人で売り上げの減少により、二億三千六百五十五千円の減、一方で一定の行政サービスを保つために交付される「地方交付税」が一億六千二百一十六万二千円の増となりました。国庫支出金では、国の経済対策による交付金や、平成20年度の繰越による定額給付金事業などにより、十二億七千六百三十六万七千円の増となりました。県支出金については、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金や新型インフルエンザワクチン接種費用助成事業県補助金などにより、千五百八十八万六千円の増となりました。地方債については、地域振興に資するため合併特例債を活用した基金造成事業や臨時財政対策債など、大幅に拡大しましたが、全体としては、前年度に比べて一億七千万円の減となりました。

歳出(性質別) 歳出を性質別に見てみると、人件費、公債費および扶助費の義務的経費が全体の49・1%を占めています。人件費については、職員数の抑制や財政健全化に資するための給与の減額などにより、二億五千八百八十四千円の減となりました。扶助費については、各種社会保障制度に対する対象者の増加により、一億五千九百四十二万六千円の増となりました。普通建設事業費については、道路や学校の施設整備などに関する支出で、社会基盤の整備に使われており、まちづくり交付金事業の事業完了により、四億八千八百四十一万七千円の減となりました。

歳出(性質別) 歳出を性質別に見てみると、人件費、公債費および扶助費の義務的経費が全体の49・1%を占めています。人件費については、職員数の抑制や財政健全化に資するための給与の減額などにより、二億五千八百八十四千円の減となりました。扶助費については、各種社会保障制度に対する対象者の増加により、一億五千九百四十二万六千円の増となりました。普通建設事業費については、道路や学校の施設整備などに関する支出で、社会基盤の整備に使われており、まちづくり交付金事業の事業完了により、四億八千八百四十一万七千円の減となりました。

■市債の状況

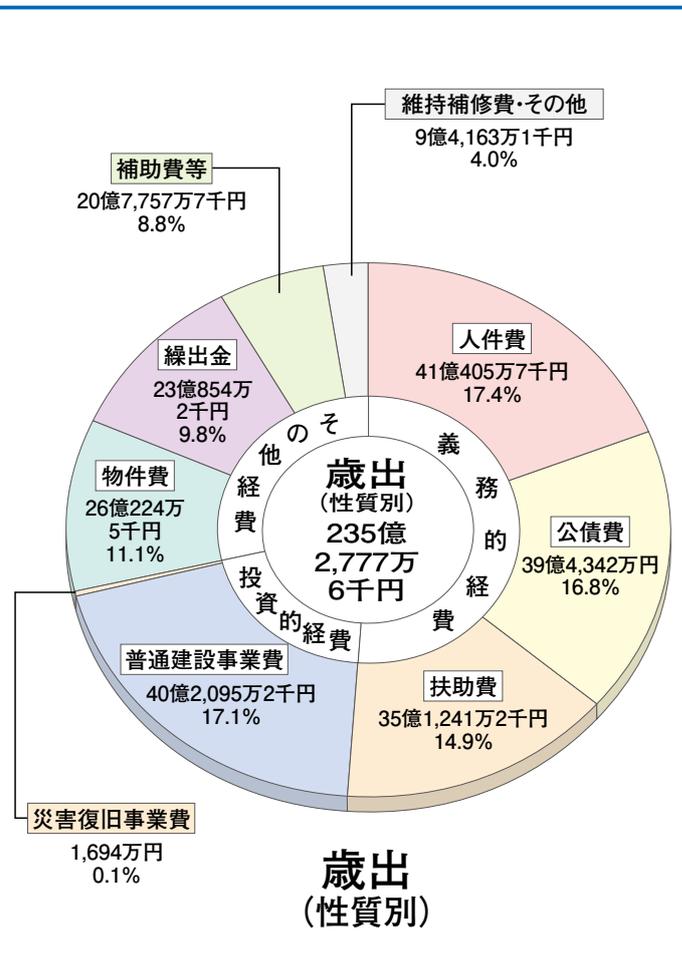
平成21年度借入額	24億3,050万円
平成21年度末借入金残高	330億2,847万1千円

■平成21年度特別会計決算状況

会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	64億5,946万円	62億4,056万8千円	2億1,889万2千円
老人保健医療特別会計	3,107万7千円	3,107万7千円	0円
特別養護老人ホーム事業特別会計	3億2,673万5千円	2億9,390万2千円	3,283万3千円
公共下水道事業特別会計	5億4,180万9千円	5億3,103万4千円	1,077万5千円
農業集落排水事業特別会計	3,912万8千円	3,728万円	184万8千円
国民宿舎事業特別会計	2億3,020万7千円	2億2,841万1千円	179万6千円
国民保養センター及び老人体養ホーム事業特別会計	607万9千円	250万9千円	357万円
温泉給湯事業特別会計	1,026万3千円	836万9千円	189万4千円
公衆浴場事業特別会計	1,045万1千円	814万円	231万1千円
飲料水供給施設特別会計	131万2千円	127万4千円	3万8千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	705万円	701万8千円	3万2千円
介護保険特別会計	44億7,412万9千円	44億1,692万3千円	5,720万6千円
後期高齢者医療特別会計	5億6,604万4千円	5億6,451万3千円	153万1千円
診療所特別会計	2億8,942万4千円	2億8,942万4千円	0円

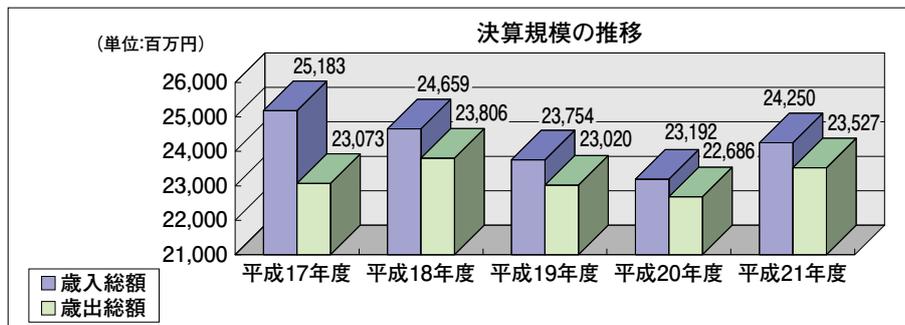
■平成21年度公営企業会計決算状況

会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険病院事業会計	2億5,860万4千円	3億1,793万4千円	△5,933万千円
水道事業会計	7億6,698万3千円	6億6,220万円	1億4,78万3千円



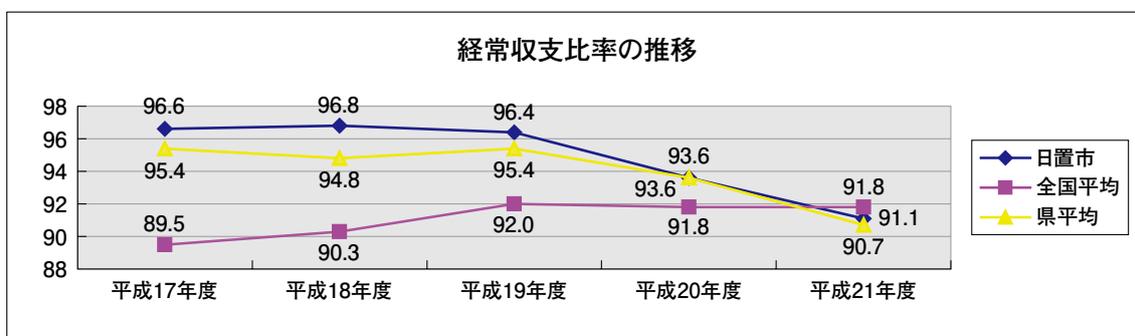
1 決算規模の推移（一般会計）

平成 21 年度の普通会計の決算規模は、国の経済対策などにより、歳入歳出とも前年度を上回る決算額となりました。

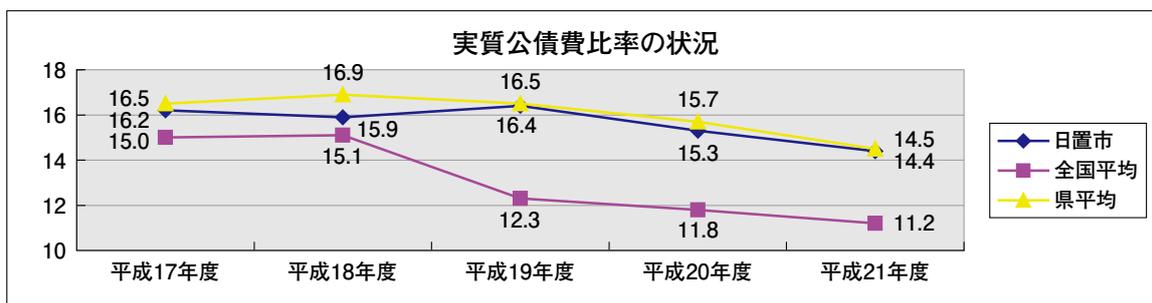


2 経常収支比率・実質公債費比率の推移

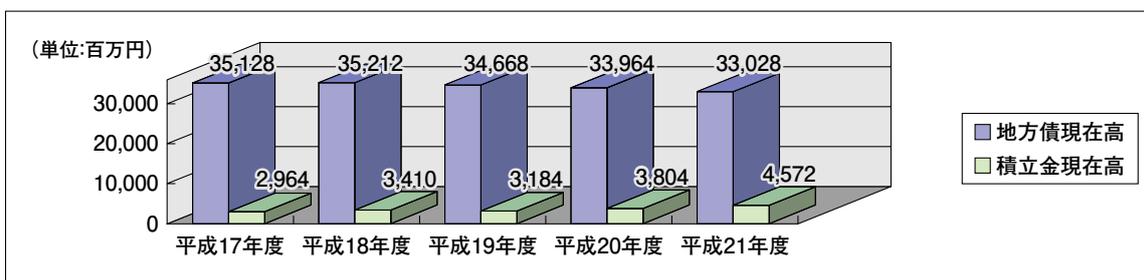
- (1) 経常収支比率 財政構造の弾力性を示す指数であり、地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合で、75%程度が妥当と言われています。指数が低いほど臨時的な経費（投資的経費など）にまわす財源を確保できることになり、高いほど経常的な経費が財政を圧迫して財政構造の弾力性が低いということになります。
- ・前年度より 2.5 ポイント減少し、91.1%となりました。2.5 ポイント改善されましたが、依然として高い比率で推移しています。財政構造の硬直化が懸念されるなか、今後も職員適正化計画に基づき職員数削減による人件費の削減など、経常支出の抑制を図る必要があります。



- (2) 実質公債費比率 平成 18 年度からの地方債協議制度移行に伴い、新たに導入された指標です。地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額（普通交付税が措置されるものを除く）に充当されたものの占める割合の前 3 カ年度の平均値です。
- ・前年度より 0.9 ポイント減少し、14.4%となりました。



3 市債残高・積立金（財政調整基金など）残高の推移



平成21年度決算に基づく 財政健全化判断比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に公布され、地方公共団体は、毎年度の決算に基づき4つの健全化判断比率（「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」）および公営企業ごとの資金不足比率を算定し、監査委員の審査を受けたうえで議会に報告し、公表することが義務づけられました。

この法律は、各比率を早期健全化基準（イエローカード）と財政再生基準（レッドカード）の2段階でチェックし、地方公共団体の財政破綻を未然に防ぎ、財政状況の早期改善を促すことが目的です。

健全化判断比率のどれか一つでも早期健全化基準を上回った場合、自主的な改善努力による財政健全化が求められ、財政健全化計画の策定と外部監査の実施が義務づけられます。

財政再生基準を上回った場合は、国などの関与による確実な再生が図られます。財政再生計画の策定と外部監査の実施が義務づけられるほか、国の許可がないと地方債の発行ができなくなるなどの制限が課せられます。

また資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合は、基準を超えた公営企業ごとに経営健全化計画を策定し、自主的な改善努力による経営健全化が求められ、外部監査の実施が義務づけられます。

策定された各計画は、毎年度、その実施状況を議会に報告し公表することになります。

日置市の平成21年度決算に基づく各比率は、下表のとおりとなり、いずれも早期健全化基準、経営健全化基準以下にあり、財政状況は健全な状態にあるといえますが、財政状況が厳しいことには変わりはなく、今後も、より一層の健全な財政運営に努める必要があります。

《健全化判断比率》

(単位：%)

項目	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
日置市の比率	—	—	14.4	72.3
早期健全化基準	12.81	17.81	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	—

実質赤字比率

一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもので、比率が高いほど深刻な状況となります。
日置市は一般会計などにおける実質収支は黒字であり、実質赤字比率はありません。

連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し指標化することで、日置市全体の財政運営の深刻度を示します。
日置市はすべての会計において実質収支は黒字であり、連結実質赤字比率はありません。

実質公債費比率

その年度の公債費（借入金の返済額）および、これに準ずる額の大きさを指標化したもので、資金繰りの危険度を示します。
比率が高いほど公債費の負担が大きく、財政の弾力性が低下し、他の経費を節減しないと赤字団体に転落する危険性が高まります。

将来負担比率

一般会計の借入金などの将来支払っていく可能性のある負担額の割合を指標化したもので、比率が高いほど、市の財政規模に比べて将来負担が大きくなり、将来の財政を圧迫する可能性が高まります。

資金不足比率

公営企業の資金不足（赤字）を公営企業の事業規模である料金収入と比較した指標で、経営状況の深刻度を示すものです。
比率が高くなるほど、料金収入で資金不足を解消するのが難しくなり、公営企業として経営に問題があることとなります。
日置市はすべての公営企業において、資金不足はありません。

《資金不足比率》

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業特別会計	資金不足はない。	20%
農業集落排水事業特別会計		
国民宿舎事業特別会計		
国民保養センター及び老人 休養ホーム事業特別会計		
温泉給湯事業特別会計		
公衆浴場事業特別会計		
国民健康保険病院事業会計		
水道事業会計		

平成21年度決算 日置市の連結財務諸表を作成しました

これまでの 公会計制度

歳入歳出
決算書

○収入と支出の説明に特化

地方税や地方交付税などの収入がどれだけあって、一会計年度中にどれだけ支出をしたのかを説明するための資料です。

これからの 新地方公会計制度

資産

貸借
対照表

行政コスト
計算書

コスト

純資産

純資産変動
計算書

資金収支
計算書

資金

○資産や負債などの状況や 行政コストの把握が容易な資料

貸借対照表はこれまでに蓄積された資産と負債の状況を表現しており、行政コスト計算書は1年間の活動でかかったコストを表現しています。このように、各表で主に表現するものが違うため、情報が分かりやすくなっています。

○日置市の連結対象団体は？

昨年度と同様に、市が財政的に負担を行う特別会計事業や病院事業、連携して行政サービスを提供する一部事務組合や土地開発公社など、17会計団体を連結対象としています。
これらは、日置市として行政サービスを提供する上で必要な業務を行っている団体であり、日置市の財政と部分的に関係しています。これら関連団体まで含めて財政状況を把握することで、日置市本来の姿が見えることとなります。

○これまでの公会計制度から何が変わる？
これまでの地方公共団体の公会計制度では、その年の収入と支出がわかりやすいようになっていた反面、市が今まで整備してきた資産やこれまでに行った借入金などの負債がどれだけあるのか、どこに多くの経費がかかっているのかなどの情報が見えにくくなっていました。
新地方公会計制度では、市が保有している資産や負債の状況、行政サービスを提供するためにかけたコストなどが見やすい表になっており、皆さまにより日置市の状況を知っていただけます。

○新地方公会計制度とは？
平成18年6月に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」が成立し、同法を踏まえ、地方公共団体の資産・債務改革の一環として、総務事務次官通知「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」の中で財務諸表の整備をすることが求められております。
これに基づき、本市の財政状況を市民によりわかりやすく提供するため、減価償却費などの企業会計的な手法を取り入れた財務諸表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表）として、昨年に引き続き総務省改訂モデルにて平成21年度連結財務諸表を作成いたしましたのでお知らせいたします。

一般会計

飲料水供給施設特別会計

住宅新築資金等貸付事業特別会計

普通会計

国民健康保険特別会計

老人保健医療特別会計

介護保険事業特別会計

後期高齢者医療特別会計

診療所特別会計

温泉給湯事業特別会計

水道事業会計

特別養護老人ホーム事業特別会計

公共下水道事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

国民宿舎事業特別会計

国民保養センター及び老人休養ホーム事業特別会計

公衆浴場事業特別会計

国民健康保険病院事業会計

日置市土地開発公社

社団法人日置市農業公社

鹿児島県市町村総合事務組合

いちぎ串木野市・日置市衛生処理組合

鹿児島県後期高齢者医療広域連合

南薩地区衛生管理組合

日置市全体

連結

新地方公会計制度による連結財務諸表の読み方

作成基準日

作成基準日は平成 22 年 3 月 31 日としています。ただし、出納整理期間（平成 22 年 4 月 1 日～5 月 31 日）における出納については、基準日までに終了したものととして算入します。

1 年基準の採用

1 年基準とは、貸借対照表の表示上、流動・固定を分類するにあたり、貸借対照表の基準日の翌日から 1 年以内に入金または支払の期限が到来するものを流動資産または流動負債とし、それ以外のものを固定資産または固定負債とする分類基準です。

貸借対照表

地方公共団体における貸借対照表（＝バランスシート）とは、これまでの行政活動によって形成された道路、建物や土地などの資産と、その資産を形成するために要した負債や財源との関係を表したものです。

ここでいう資産とは、行政サービスを提供するために活用できる財産のことです。

借方	貸方
1. 公共資産	1. 固定負債
2. 投資等	2. 流動負債
3. 流動資産	
	負債
資産	純資産

現在市が保有する資産の総額

資産形成のために作った借金額

資産形成のために、すでに支払った額

資金収支計算書

資金収支計算書（＝キャッシュフロー計算書）とは、1 年間の自治体における収入と支出を性質別に分類して、支出と財源の関係など資金の流れを見るための財務書類です。

経常収支
支出、収入
公共資産整備収支
支出、収入
投資・財務的収支
支出、収入
当年度資金増減額
期首資金残高
期末資金残高

各分野ごとに投入した現金とそのためにより収入額

今年度の資金増減額

今年度の現金収支の結果、形成された資金残高

昨年度末の資金残高

行政コスト計算書

行政コスト計算書（民間では損益計算書）とは、行政コストを種類別に区分して、どこにどれだけかかっているのか、それに対する収入はどれくらいあるのかといった計算を行うようになっています。

経常行政コスト
1. 人にかかるコスト
2. 物にかかるコスト
3. 移転支的コスト
4. その他のコスト
経常収益
1. 使用料・手数料
2. 分担金・負担金・寄附金
3. その他の収益
純経常収益行政コスト

行政サービスを提供するためのコスト

行政サービス直接対価としての収入

経常行政コストから経常収益を引いたもの

純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、バランスシートの純資産の部が 1 年間でどのように変動したのかを計算する財務書類です。その計算は、昨年度バランスシートの純資産に対して、どれだけ増加させる要因があり、どれだけ減少させる要因があったかを差し引きして行います。

期首純資産残高
△減少要因
増加要因
期末純資産残高

昨年度末の純資産残高

今年度末の純資産残高

平成21年度決算 日置市の普通会計財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

借 方		貸 方	
資産の部	金額	負債の部	金額
1. 公共資産		1. 固定負債	
(1)有形固定資産	105,932,110	(1)地方債	29,739,809
(2)売却可能資産	382,007	(2)長期未払金	0
公共資産合計	106,314,117	(3)退職手当引当金	4,505,082
		(4)損失補償等引当金	0
2. 投資等		固定負債合計	34,244,891
(1)投資及び出資金	923,846	2. 流動負債	
(2)貸付金	6,505	(1)翌年度償還予定地方債	3,288,662
(3)基金等	2,739,887	(2)短期借入金	0
(4)長期延滞債権	225,917	(3)未払金	0
(5)回収不能見込額	△ 65,285	(4)翌年度支払退職手当	0
投資等合計	3,830,870	(5)賞与引当金	225,709
3. 流動資産		流動負債合計	3,514,371
(1)現金預金	4,156,672	負債合計	37,759,262
(うち現金)	722,633	純資産の部	金額
(2)未収金	62,621	純資産合計	76,605,018
流動資産合計	4,219,293	負債及び純資産合計	114,364,280
資産合計	114,364,280		

資金収支計算書

(単位：千円)

	金額
1. 経常的収支	6,286,893
支出合計	15,073,555
収入合計	21,360,448
2. 公共資産整備収支	△1,907,427
支出合計	4,106,747
収入合計	2,199,320
3. 投資・財務的収支	△4,163,170
支出合計	4,532,354
収入合計	369,184
当年度歳計現金増減額	216,296
期首歳計現金残高	506,337
期末歳計現金残高	722,633

純資産変動計算書

(単位：千円)

	金額
期首純資産残高	74,907,880
純経常行政コスト	△18,726,730
一般財源	
地方税	4,258,881
地方交付税	9,211,041
その他行政コスト充当財源	1,372,186
補助金等受入	5,773,723
臨時損益	△16,901
資産評価替・無償受入	△175,062
その他	0
期末純資産残高	76,605,018

行政コスト計算書

(単位：千円)

	金額
経常費用	19,439,641
1. 人にかかるコスト	4,120,877
(1)人件費	3,491,706
(2)退職給与引当金繰入等	403,462
(3)賞与引当金繰入額	225,709
2. 物にかかるコスト	6,223,102
(1)物件費	2,595,720
(2)維持補修費	101,819
(3)減価償却費	3,525,563
3. 移転支的コスト	8,471,998
(1)社会保障給付	3,512,412
(2)補助金等	2,077,820
(3)他会計への支出	2,269,863
(4)他団体への公共資産整備補助金等	611,903
4. その他のコスト	623,664
(1)支払利息	584,344
(2)回収不能見込計上額	39,320
(3)その他行政コスト	0
経常収益	712,911
使用料・手数料等	446,986
分担金・負担金・寄付金	265,925
純経常行政コスト(経常費用－経常収益)	18,726,730

市民一人当たりの資産残高

約222万円

市民一人当たりの負債残高

約73万円

市民一人当たりの純資産残高

約149万円

市民一人当たりの行政コスト

約38万円

市民一人当たりの経常収益

約1.4万円

市民一人当たりの純資産変動額

約3.2万円

○日置市の財務諸表はどうなっている？

日置市の財務諸表における市民一人当たりの各金額は左記のようになっていきます。資産が多ければ、さまざまなインフラ資産(学校や道路、公民館など)や基金が充実しているという意味になります。これは、あくまでも行政サービスを提供するために使える財産であり、一般的に売ってお金にできる財産とは違うことに注意が必要です。

また資産に占める負債の割合が少ないほど、健全な資産形成が行われているといえます。しかし、長期間利用可能な施設は、施設が使える間の住民の負担で建設することが望ましいことから、金利が大きな負担にならない程度で負債を活用することもあります。

平成21年度決算 日置市の連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

借 方		貸 方	
資産の部	金額	負債の部	金額
1. 公共資産		1. 固定負債	
(1)有形固定資産	122,765,372	(1)地方公共団体	35,100,223
(2)無形固定資産	0	(2)関係団体	137,511
(3)売却可能資産	382,007	(3)長期未払金	0
公共資産合計	123,147,379	(4)引当金	4,906,292
		(5)その他	0
2. 投資等		固定負債合計	40,144,026
(1)投資及び出資金	874,894	2. 流動負債	
(2)貸付金	6,505	(1)翌年度償還予定地方債	3,566,795
(3)基金等	3,892,838	(2)短期借入金	500,000
(4)長期延滞債権	495,843	(3)未払金	139,389
(5)その他	0	(4)翌年度支払退職手当	0
(6)回収不能見込額	△ 171,908	(5)賞与引当金	237,404
投資等合計	5,098,172	(6)その他	15,167
3. 流動資産		流動負債合計	4,458,755
(1)資金	5,968,343	負債合計	44,602,781
(2)未収金	290,560	純資産の部	金額
(3)販売用不動産	569,009	純資産合計	90,410,963
(4)その他	12,523		
(5)回収不能見込額	△ 72,241		
流動資産合計	6,768,194		
資産合計	135,013,745	負債及び純資産合計	135,013,744

連結資金収支計算書

(単位：千円)

	金額
1. 経常的収支	7,313,008
支出合計	34,394,881
収入合計	41,707,889
2. 公共資産整備収支	△2,590,192
支出合計	4,967,464
収入合計	2,377,272
3. 投資・財務的収支	△4,339,459
支出合計	4,777,823
収入合計	438,364
当年度歳計現金増減額	383,357
期首歳計現金残高	5,584,157
経費負担割合変更に伴う差額	829
期末歳計現金残高	5,968,343

連結純資産変動計算書

(単位：千円)

	金額
期首純資産残高	88,248,643
純経常行政コスト	△29,488,413
一般財源	
地方税	4,258,881
地方交付税	9,211,041
その他行政コスト充当財源	4,876,158
補助金等受入	13,283,980
臨時損益	△16,901
出資の受入・新規設立	0
資産評価替・無償受入	△175,062
その他	212,636
期末純資産残高	90,410,963

連結行政コスト計算書

(単位：千円)

	金額
経常費用	39,224,764
1. 人にかかるコスト	4,874,529
(1)人件費	4,314,922
(2)退職給与引当金繰入等	322,204
(3)賞与引当金繰入額	237,403
2. 物にかかるコスト	7,772,141
(1)物件費	3,279,122
(2)維持補修費	313,478
(3)減価償却費	4,179,541
3. 移転支出的なコスト	25,325,674
(1)社会保障給付	12,668,977
(2)補助金等	11,971,070
(3)他会計への支出	66,352
(4)他団体への公共資産整備補助金等	619,275
4. その他のコスト	1,252,420
(1)支払利息	757,615
(2)回収不能見込計上額	132,844
(3)その他行政コスト	361,961
経常収益	9,736,351
使用料・手数料等	493,304
分担金・負担金・寄付金	5,203,309
保険料	1,924,112
事業収益	1,734,177
その他特定行政サービス収入	381,449
純経常行政コスト(経常費用－経常収益)	29,488,413

市民一人当たりの資産残高

約262万円

市民一人当たりの負債残高

約87万円

市民一人当たりの純資産残高

約175万円

市民一人当たりの行政コスト

約76万円

市民一人当たりの経常収益

約19万円

市民一人当たりの純資産変動額

約4.2万円

○日置市の連結財務諸表はどうなっている？
日置市の会計を連結させると、連結をさせない場合と比較して、資産が約18%アップ、負債が約19%アップしており、若干負債割合が増加することになります。また行政コストはほぼ2倍増加します。
この状態で見ても、純資産の方が負債より多く、純資産変動額もプラスになっているので、健全な財政運営ができています。

行政改革

平成18年度から平成21年度までの4年間で

「42億9千8百万円」の効果

市では「日置市行政改革大綱」に基づいて平成18年度からさまざまな行政改革に取り組んでいます。平成22年度までの5年間の目標効果額をおおむね50億円と定め55の行動計画（アクションプラン）に沿って進めている行政改革。今回は21年度までの4年間の効果について報告します。実績を踏まえ、見直しを行いながら、さらなる『**改革**』を推進します。

市では、平成18年3月に策定した「日置市行政改革大綱」に基づいて、平成18年度から22年度までの5年間の具体的な取り組み方法となる、55項目の行動計画（アクションプラン）を定め、平成18年度から行政改革に取り組んでいます。

その目標とする効果額は、平成17年度当初予算額と比較し、おおむね50億円。これに対し平成21年度までの効果額は42億9千8百万円となりました。

歳入の効果では、市税等の確実な確保および使用料の均一化や受益者負担の適正化に努めてきました。

また新たな自主財源の確保

と、市民サービスの向上および地域経済の活性化を図るために、市の資産や発行情物等を広告媒体として有効活用することを目的とする、有料広告事業を導入しました。

歳出の効果では、職員の定員適正化計画を定め、定員管理を実施、職員削減に努めてきました。また補助対象事業のこれまでの実績や効果を検証しながら、補助金の整理・統合等に取り組んでいます。

さらに指定管理者制度を導入し、平成22年4月で、31の公共施設で民間事業者等による管理運営を実施し、効率的な管理運営を推進しています。

★アクションプランに基づく行政改革効果額★

歳入

(単位：千円)

アクションプラン項目	21年度までの実績	
	目標額	効果額
使用料・手数料の見直し	3,000	3,320
市税等公金徴収率の数値目標設定	34,116	567,610
未利用土地等の活用・処分	※①	272,318
合計	37,116	843,248

歳出

(単位：千円)

アクションプラン項目	21年度までの実績	
	目標額	効果額
補助金の整理統合	75,000	75,822
定員適正化計画の策定・公表	387,224	586,583
臨時職員・嘱託職員等の適正配置	30,491	※②△ 25,481
特殊勤務手当の見直し	5,269	3,767
特別職等の給料等の検討	※③	51,796
消耗品費等の削減	199,000	16,280
委員会・審議会等の整理統合	494	492
選挙投票区の見直し	4,000	5,195
事業の厳選と優先順位の設定	2,025,000	2,697,797
指定管理者制度の導入	25,256	24,847
議員定数等の検証	※④	18,553
合計	2,751,734	3,455,651

※①③④＝プラン作成時に目標額が定められていません。

※②＝21年度緊急雇用創出事業などに取り組み、賃金が増加したため効果額がマイナスとなりました。





行政改革推進委員会を開催

市では、簡素で効率的な市政の実現を図るため、日置市行政改革推進委員会(会長 萩野誠鹿 児島大学教授)を設置し、行政改革の推進に関する重要事項の調査、審議などを行っています。

八月二十六日と十一月十二日に今年度の会議が開催され、行政改革大綱行動計画(アクションプラン)の進捗よく状況や第二次行政改革大綱案などについて協議しました。

委員からは「第一次行政改革大綱の最終年度となる今年度は、目標の達成に向けて引き続き行政改革に取り組んでいただきたい」といった意見が交わされました。

市では平成23年度以降も引き続き行政改革に取り組むため、その指針となる第二次行政改革大綱を今年度策定することとしています。

基本的な柱	進捗よく度					計
	早く進行	目標達成	計画どおり	ほぼ遅れている	かなり遅れている	
1 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織	3	10	1			14
2 定員管理および給与の適正化	5	2				7
3 自主性・自立性の高い財産運営の確保	4	12	1			17
4 地方公共団体における行政の担うべき役割の重点化	2	7	1			10
5 人材育成の推進		2	1			3
6 電子自治体の推進		2				2
7 議会	2					2
合計	16	35	4			55

※55項目のアクションプラン進捗よく状況の詳細は日置市ホームページをご覧ください。

◆…………… アクションプランにより実施した主な内容 ……………◆

1 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織

- ☞ 事務組織機構の見直しを進め、18年度の50課を22年度から36課に削減しました。
- ☞ 年度当初に各課の経営方針を策定し、共通理解を図るとともに公表しています。
- ☞ 本庁に総合案内員を設置し、市役所を利用する市民のサービス向上を図りました。
- ☞ 市が政策等の策定にあたり、案を公表し、市民の意見を考慮していくパブリックコメント制度を導入しました。(教育振興基本計画ほかで制度を実施)
- ☞ 市民の皆さまのまちづくりに対する意向や意見をお伺いするため「市民アンケート」を実施しました。

2 定員管理および給与の適正化

- ☞ 定員適正化計画に基づき、職員数の削減に取り組んでいます。(17年度と比較して22年度までに108人(合併前不補充18人含む)の削減)
- ☞ 特殊勤務手当の見直し(削減・廃止等)と特別職等給与等を削減しました。(21年度:市長△15%、副市長△10%、教育長△8%、議員△3%、管理職手当△10%、職員△2%)

3 自主性・自立性の高い財産運営の確保

- ☞ 有料広告事業を導入し、ホームページにバナー広告を掲載、またネーミングライツ(施設命名権)事業などを実施しました。
- ☞ 未利用土地・建物の売却、不用になった公用車等の売却を進めました。(21年度までに約2億7千万円)

4 地方公共団体における行政の担うべき役割の重点化

- ☞ 指定管理者制度を導入し、平成22年4月で31施設において民間事業者等が管理運営を実施しています。
- ☞ 地域協働を推進するために地区公民館制度を立ち上げ、全26地区にコミュニティ連絡所としての地区公民館を設置しました。
- ☞ 各地区の身近な課題解決に向け、地域づくり振興基金により地区振興計画に基づいた事業を実施しました。

5 人材育成の推進

- ☞ 職員研修計画を策定し、積極的な研修参加、資質向上に努めました。(平成21年度はチャレンジ研修として29科目に182人が受講しました。)

6 電子自治体の推進

- ☞ 地域情報化計画を策定し、情報化を推進、20地区公民館と4郵便局で住民票等の発行が可能になりました。
- ☞ 事務の簡素化と執行の透明性などを図るため、電子入札を実施しています。

7 議会

- ☞ 平成21年5月に市議会議員選挙が実施され、議員定数が30人から22人に削減になりました。



平成 23 年 4 月

実証運行

乗合タクシー路線拡大へ

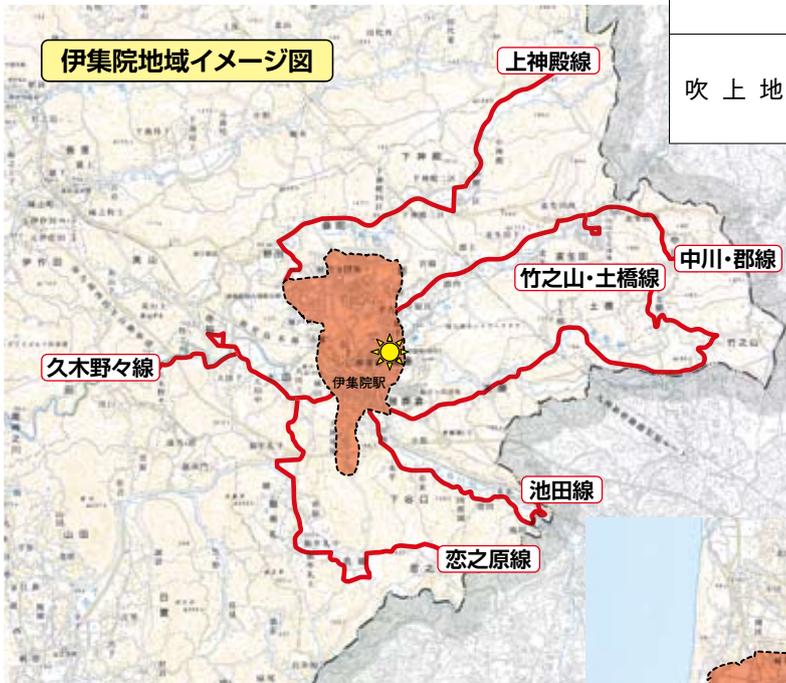
～コミュニティバスと乗合タクシーの連携による新しい交通体系～

市では、道路運送法に基づき、市内の公共交通のあり方について協議することを目的に、日置市地域公共交通会議を設置しています。

平成 22 年 9 月 6 日に開催された会議で、市内各地域の交通体系を平準化するために、平成 23 年度からのコミュニティバスと乗合タクシーの連携による新交通体系の方向性が右記のとおりとなりました。

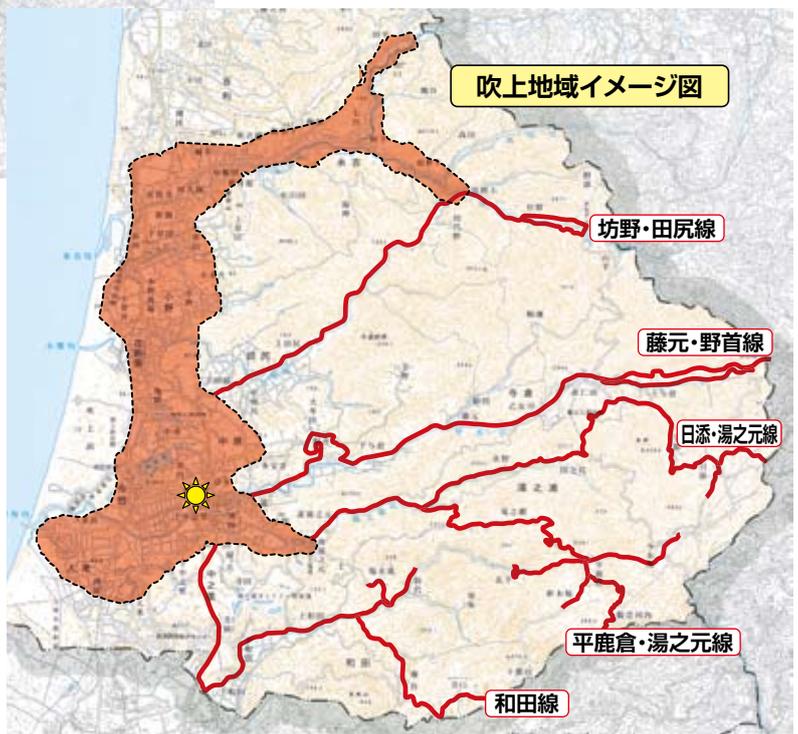
今後、乗合タクシーが導入される伊集院・吹上地域で住民説明会を開催します。

地域名	変更内容
東市来地域	現行どおり
伊集院地域	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスは市街地循環のみ ・各遠隔地～市街地の路線は休止 ・休止路線は乗合タクシーに変更
日吉地域	基本現行どおり
	以下の便のみ廃止
	・14:30 市民診療所発～松山
	・17:15 市民診療所発～松山
吹上地域	・14:52 日吉支所発～永吉麓
	・コミュニティバスは市街地を中心に循環系3路線へ変更
	遠隔地～市街地への路線は乗合タクシーを導入



【イメージ図注釈】

- コミュニティバス路線エリア
- 乗合タクシー路線
- 市役所（本庁または支所）



平成23年度第3回日置市地域公共交通会議のお知らせ
 と き：12月27日(月) 14:00～
 ところ：日置市中央公民館

感謝の気持ちで地域へ貢献

高齢者住宅配線診断サービス

伊集院地域の民生委員と九州電力の社員が十月二十五日、土橋地区や下神殿地区など六地区三十一戸の高齢者宅を訪問、ポランティアで電気配線や照明器具の点検を行いました。



これは、九州電力の「お客さまありがとうプロジェクト」の一環として行われたものです。



日ごろ、コンセント付近の掃除や漏電などの点検が難しい高齢者は、専門家が点検を行ってくれたことに対し「一人では何にもできないので、本当に助かった。蛍光灯も新品と同じようになつて、とてもうれしい」と感激した様子で話しました。

世代間交流で「命のバトンタッチ」

吹上地域更生保護女性会・PTA合同研修会

吹上地域更生保護女性会（長野野瑛や子会長）と吹上地域内のPTA会員が十月一日、合同で研修を行いました。

この研修会は更生保護女性会が、母親の先輩として命のバトンをつなぐと「親育て」支援の必要性を訴え、親の世代間交流を図ろうと行われたものです。

今年、鹿児島市郡山町の児童心理療育施設「自然学園」と「南泉院」で研修を行いました。自然学園は、引きこもりや虐待など、心に傷を負った子どもたちをサポートする施設で、施設

長から、子どもを取り巻く現状などについて話を聞きました。

また南泉院では宮下住職が、「しつけの基本、命の基本は食事にある。『万物の命をいただく』食事の大切さを子どもたちに教えてほしい」と講話。あらためて命の尊さについて理解を深めました。

参加したPTA会員からは「どちらの話も基本は家庭にあると感じ、親として考えさせられた」「これからは、子どもや夫婦で向かい合って話をした」「などの感想が聞かれました。



宝くじ助成事業で自治会活動を活性化

上市来地区公民館・梅木自治会（東市来地域）

宝くじの事業収入を原資とした「平成二十二年度コミュニティ助成事業」を活用し、上市来地区公民館と梅木自治会が公民館備品を整備しました。

上市来地区公民館は、公民館の利用促進を図り、明るく活力ある地域づくりを目指すため、健康機器・レク活動用品・視聴覚関係用品などを購入しました。梅木自治会では、高齢者と子どもたちのふれあい事業を行い、気軽に公民館を利用してもらうようにテントやエアコン、レク活動用品など整備しました。

宝くじの収益金は、このように還元され、地域づくりに役立っています。

「上市来地区公民館」「ふるさと豊年祭り」の反省会で、音響機器が活躍



「梅木自治会」

運動会で活用されたテント



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

荘厳な調べが生徒らを魅了

鹿児島城西高校文化祭

薩摩琵琶の演奏と、生徒を対象にしたワークショップが十一月六日、鹿児島城西高校文化祭で行われました。

これは、まちの駅連絡協議会

の内山竹文さんが、薩摩の伝統文化を伝えたいとの思いから「NPOさつま琵琶普及の会」の協力を得て企画したものです。

奏者は鶴田流琵琶演奏



者の櫻井亜木子さん。「那須の与一」と「壇ノ浦」が演奏されると、会場には荘厳な調べが静かに響きわた

り、生徒たちは時代を越えた音色に酔いしれました。その後行われたワークショップでは、生徒たちが実際に薩摩琵琶を体験。琵琶の構え方や撥（ぼち）の持ち方、息の整え方などを教わりました。



楽しい音楽劇に児童ら笑顔

芸術文化振興基金助成事業

演劇集団 遊玄社（ゆうげんしゃ）による音楽劇が十一月

二十二日、伊作小学校（吹上）でありました。これは芸術文化振興基金助成事業により開催されたものです。

内容は、イソップ寓話（ぐうわ）の中から八つの話を選んだ音楽劇で、俳優たちがアフリカの民族楽器に合わせて、歌い踊りながら披露すると、児童らは躍動感あふれる演技に、食い入るように見入っていました。

またステージは二日前に設けられ、間近で見る俳優の豊かな表現力と、ユーモラスで迫力のある演技に、歓声と笑い声が絶えず、二時間があっという間に過ぎました。



ふれあい交流で地域の良さを再確認

和田小学校ふるさと講演会・収穫祭

一・二年生は、みこしや出店、ミニゲームなどで、交流を楽しんだほか、田植えから刈り取りまで自分たちで作ったもち米で、昔ながらの臼ときねを使つたもちつきを体験。出来上がったカライモチを、参加者全員で味わいながら、収穫の喜びを分かち合いました。



▲みんな真剣な表情で聞きました

和田小出身の先輩による「ふるさと講演会」が十一月二日、和田小学校（吹上）で行われました。

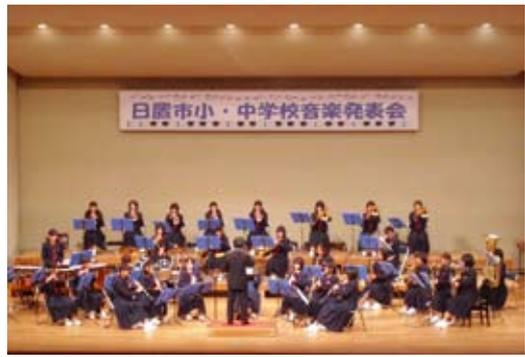
この講演会は毎年開催されているもので、今回は下園重雄さん（七八歳）が「和田で生まれ育つてよかった」と題して講演。自らが農業指導員として、日本や世界各地で仕事をしてきた体験を交えて話しました。また「地元、和田は本当に良い所、みんなも再確認してほしい」など話すと、児童や一般参加の地域の方々も、豊富な経験談に真剣に聞き入っていました。

また同月五日には、収穫祭があり、大地の恵みに感謝しながら、地域の方々と交流を深めました。



息の合ったハーモニーと演奏を披露

小・中学校音楽発表会



▲息の合った演奏を披露する伊集院北中学校

日置市小・中学校音楽発表会が十一月十日、伊集院文化会館で開催され、児童・生徒の美しい歌声や演奏が、会場いっぱい響きわたりました。

今年度は二年に一度の、日置市内の全小中学校が一堂に会して行う音楽発表会であり、二十六校が参加しました。

発表会は、和田小学校のひまわり竹太鼓の迫力ある演奏で始まり、力強い竹太鼓の響きを体で感じました。



▲練習の成果を披露する日置小学校

また合唱や合奏、オペレッタ、吹奏楽演奏など、バラエティーに富んだプログラム構成で行われ、日ごろの練習の成果が表れたすばらしい発表会となりました。

もつと本に親しんで

ふきあげ図書館読書月間の取り組み

ふきあげ図書館では親子で絵本の世界を楽しみ、本に親しんでもらおうと、十月の読書月間中にさまざまな取り組みを行いました。

十一日は、絵本作家の長谷川義史先生を招いて講演会が行われ、市内外から約百三十人の親子が参加しました。

長谷川先生は「いいから、いいからは心の呪文」と題して講演、ほかにも先生自身の読み聞かせや「吹上うまいものうた」の創作をするなど、先生と参加

者が一体となって楽しみ、最後まで笑いの絶えない講演会となりました。

また三十日には、おはなしボランティアグループ「ぼけつとファンタジー」による「星空おはなし会」が開催されました。

今年で九回目となる「おはなし会」には、市内外から約百三十人の親子が集まり、ブランクシアターや素話、タオル人形劇などを実演。参加者は、楽しいおはなしの世界に引き込まれていました。



▲ブラックシアターの実演



▲長谷川義史先生の講演

小松帯刀と龍馬

日置地区講演を聴く会

南日本新聞に「さつま人国誌」を連載している歴史作家、桐野



南日本新聞に「さつま人国誌」を連載している歴史作家、桐野

これは日置地区講演を聴く会の主催で行われたものです。

桐野さんは「小松帯刀と龍馬」と言う演題で講演、薩長同盟と小松帯刀や龍馬とのかかわり方、役割などについて話しました。また二人が幕末維新にどのような影響を与えたのかといった話など、史実に基づいた話に参加者は興味深く聞き入っていました。

清掃活動で恵まれた自然を体感

吹上高校地域ボランティア活動

吹上高校の生徒が十月十五日、地域ボランティア活動を行いました。

今回は、例年行っている学校周辺から本町通りバス停までの清掃を変更し、初めて吹上浜の海岸清掃を実施。学年ごとに分かれて空き缶やビニール、自動車のタイヤまで、さまざまなゴミを分別しながら集めました。

また学校から歩いて移動するなかで、吹上浜の松林と砂丘の恵まれた自然を体感し、自然環境保護の意識も高まりました。



個性あふれる生涯学習の成果を披露

伊集院地域文化祭・日置市文化祭



▲各種芸能発表で盛り上がるステージ（伊集院地域文化祭）

伊集院地域文化祭が十一月三日、伊集院文化会館で開催され、大勢のグループや家族連れなどが訪れました。

ステージでは、子どもから高齢者まで幅広い年代が、コーラスや舞踊、三味線など、学習の成果を生き生きと表現。展示部門では、絵画や書道、押し花アートなどの作品が展示され、訪れた観客の目を惹きました。また二十一日には、日置市芸術祭が行われました。発表では、大正琴や詩吟など、各団体が日ごろの練習の成果を披露。観客は、それぞれに大きな拍手を送っていました。一方ロビーには、公民館講座や自主活動などで制作した陶芸や竹細工などの作品が展示され、大勢の市民らがじっくりと見入っていました。



独創的な作品が観客を魅了

東市来地域文化祭

第六回東市来地域文化祭が十月三十日から十一月三日にかけて、東市来文化交流センターで開催されました。

会場には、東市来地域文化協会員による手工芸や生け花、絵画など、素晴らしい作品が展示され、観客を驚かせました。

文化の日の三日には、協会に所属する二十団体による芸能発表が行われました。

ステージでは、日本舞踊や詩吟、太鼓など、日ごろ練習している成果が披露され、大勢の観客を沸かせました。



▶ふるさと学園による迫力ある和太鼓演奏

日ごろの成果一堂に

日吉地域文化祭



▲合唱を披露する日新小児童

十月三十日と三十一日の二日間、日吉地域文化祭が日吉老人福祉センターで開催されました。



会場には、幼稚園児や保育園児の作品から、菊花や水墨画など、各種講座生の作品が展示され、観客は足を止めて見入っていました。

ホールでは、小・中学生の合唱や合奏が披露され、大きな歌声が会場に響きました。またフラダンスや舞踊など多彩な芸能発表もあり、観客を魅了しました。

芸術文化の魅力を感じ取り鑑賞

吹上地域文化祭

吹上地域文化祭が十月三十日から三十一日の二日間にわたり、吹上中央公民館で開催され、大勢の人が芸術文化の秋を堪能しました。

同体育館には、文化協会員や児童生徒が作成した書道や絵画、丹精込めて育てられた菊花や盆栽などが展示され、観客の注目を集めました。

ホールでは、厳浄寺保育園によるエイサーを皮切りに舞踊や太鼓など、さまざまな芸能発表があり観客を楽しませました。



◀永吉小児童が合唱と合奏を披露

金メダリストに泳ぎの基本学ぶ

ニチレイチャレンジ泳力検定会

（株）日本水泳振興会主催の泳力検定会が十月三十日、B&G東市来海洋センター（東市来）で



あり、ゲストとしてアテネオリンピック競泳女子800m自由形ゴールドメダリストの柴田亜衣さんも参加。トークショーや、公開指導が行われました。柴田さんは、水泳を始めたきっかけや、オリンピックに出場したときのエピソードなどを話し、持参した金メダルが披露されると、参加者は興味津々に見入っていました。その後行われた模範泳法で



は、スタート後の姿勢や浮き上がり方、ゴールタッチの仕方など基本をアドバイス。世界の泳ぎを間近で見た参加者は、真剣な表情で聞いていました。

今日の先生は地域の大人



地域の方々に講師に招き、さまざまな活動をおして交流を図る、地域ふれあい会が十月二十八日、鶴丸小学校（東市来）で行われました。

この交流会は、グラウンドゴルフや料理、茶道など、全十一コースに分かれて、地域の大人が一日先生となり、子どもたちと一緒に楽しみながら交流を図っているものです。今回から新たに加わった手品

鶴丸小 地域ふれあい会

コースでは、中村三郎さんと権葉峯一郎さんがロープやハンカチなど、自分たちの身近にあるものを使い、さまざまな手品を披露。子どもたちも実際に道具を使って教えてもらうと、夢中になって取り組んでいました。また活動終了後には、一日先生となってくださった皆さんを教室に招待して一緒に給食を食べるなど、楽しく交流した一日となりました。

きれいな道路を気持ちよく歩いて

鹿児島県建設業協会日置支部会

鹿児島県建設業協会日置支部青年部会（内田敬之会長）が、妙田寺詣り前の十月十五日、チエスト館から徳重神社までの県道206号で歩道沿いの草払いやゴミ拾いボランティア作業を実施しました。

この活動は、各地から歩いて来る大勢の人たちに気持ちよく歩いてもらいたいと、今年初めて行ったもので、二十人が参加しました。四時間余りの作業を終えた会



員らは汗を流した成果にとっても満足そうでした。

日ごろの練習の成果を競う

県老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会準優勝



▲準優勝の郡敬友会チーム

県老人クラブ連合会のグラウンドゴルフ大会が十月二十一日、鹿児島市の鴨池補助グラウンドで行われ、各地区代表の六十四チームが参加しました。

開会式では、伊集院支部の西早苗会長の元気なあいさつの後、高齢者クラブが推奨している「いきいきクラブ体操」を全員で行い、競技が始まりました。参加者はホールポストめがけてはつらつとプレー。和気あいあいとラウンドを楽しみました。日置地区代表として参加した郡敬友会チーム（伊集院支部）は惜しくも準優勝でした。

人馬一体、射抜く矢に沸く歓声

伊作流鎗馬奉納



四百五十年以上の歴史があり、県無形民俗文化財にも指定されている伊作流鎗馬が十一月二十三日、大汝牟遲（おおなむち）神社（吹上）で奉納されました。

今年の射手は、初の兄弟コンビとなった益満太さんと、啓之さん（共に浜田自治会）。色鮮やかな狩衣装をまとい、神社前の馬場を疾走しながら矢を放つと、見事に的を射抜くたびに大歓声と拍手が沸き起こりました。また神社境内では剣道が、吹



上浜公園では柔道と弓道の体育行事も併せて行われました。体育行事の市関係の成績は次のとおりです。

（敬称略、一位のみ）

- 剣道**【団体】小学生 天昌剣道スポ少【個人】小学五年 堀之内健◇小学六年 古川征矢
- 柔道**【団体】中学男子 吹上中◇中学女子 吹上中

八幡で躍動！湯之元伝統馬踊り

湯之元クラブ

東市来地域の湯之元クラブが十月十七日、北九州市の場外馬券場ウインズ八幡で伝統馬芸芸能「湯之元馬頭観音馬踊り」を披露しました。

これは、JRA（日本中央競馬会）が馬事振興の一環として各地の競馬場や場外馬券売り場などで行っているイベントに、招待されたもので、五月の小倉競馬場に続き、今年二回目の県外公演となりました。

当日は、午前・午後の二度にわたって、かごしまおほら節やハンヤ節を披露。次々奏でられる三味線の音色と歌声に合わせて軽快なステップを踏むシャンシャン馬と、一糸乱れぬ踊り子の姿に会場の観客から大きな拍手が送られました。

踊りの後には、パンフレットと併せて日置市特産の焼酎を無料で振る舞うなど、大勢の観客に日置市をPRしました。



にぎわう美山、今年もパンでおもてなし

美山窯元祭り



▲今年もにぎわった薩摩焼体験

十月三十日から十一月三日までの五日間、第二十五回美山窯元祭りが美山（東市来）で開催されました。

二十五回目の節目を迎えた今年には、特別企画として「美山登り窯パン工房」が実施されました。これは、薩摩焼体験広場で陶芸体験をされた方に、共同登り窯で焼き上げた美山オリジナルの焼き立てパンをプレゼントするものです。

期間中、陶芸体験は例年以上の人気となり、パンが焼き上がるころには、美山オリジナルの米粉百割のパンを求めて長蛇の列も。パンを食べた方は「外はパリッと、中はモチツツとしていて、とてもおいしい」と話し、大好評でした。

このほか、各窯元では陶器がお祭り特価で販売されるなど、お気に入りの品を探して多くの人であふれました。

一方イベント広場では、薩摩焼や工芸品のチャリティーオークション、またダンスや実力派バンドのコンサートなどがあり、大いに盛り上がりました。

祭り期間中は天候にも恵まれ、晩秋の美山がにぎわった五日間となりました。



▲大好評だった「美山登り窯パン工房」



▲たくさんの作品が並んだチャリティーオークション

日置市の魅力ある農業と漁業を体験！

担い手農家結婚支援事業



日間を楽しく有意義なものとしてください」とあいさつ。参加者は早速、アスパラガスやサツマイモなどの収穫体験でさわやかな汗を流しました。

交流パーティーでは、レクリエーションや自己PRを行い、参加者全員が楽しい雰囲気の中で、会話を弾ませました。

二日目は、江口海岸での観光地引網を体験。女性参加者は「網を引くのは大変だったけど、初めての経験で感動した。意中の男性とも話げできたので、良かった」と話しました。

独身女性との交流が少ない独身の担い手農家などに、出会いの場を提供しようと、十月十六日から十七日まで「ふれあい交流会」が開催されました。

参加者は、鹿児島市や始良市などからの女性二十一人、日置市内の担い手農家などの男性十九人。

開会式では、農業委員会片平勇会長が「日置市の魅力ある農業を体験していただき、心かよう方と出会えれば幸いです。この二



恵みの秋をたっぷり満喫

日吉地域産業祭



日吉地域産業祭が十月三十一日、日吉老人福祉センター内ふれあいセンターで開催されました。

会場には、地域の特産品が勢ぞろいする中、季節野菜の即売会や家庭用品バザーなどのコーナーもあり、多くの人でにぎわいました。

また同センター内では、日吉地域文化祭も開催されており、うどんや、つきたてのもちの販売コーナーは行列ができるほど

団子の香りに誘われ、長い列

深固院祭り

今年で十八回目となる深固院祭りが十一月二十一日、扇尾地区深固院ふれあい広場（日吉）で開催されました。

香ばしい香りの漂う会場では、地元産の米粉を使った「しんこ団子」のほか、焼き鳥や甘酒、もちなどの販売もあり、訪れる人を引き込みました。

ステージでは、郷土芸能「虚無僧踊り」の奉納をはじめ、扇尾保育園の子ども太鼓や扇尾小学校のオペレッタ、婦人会の踊りなど地区住民みんなが参加して、祭りを盛り



▲祭りの主役「しんこ団子」

上げた。また同地区で生産された米や、採れたての新鮮な野菜が当たる抽選会もあり、いつもは静かな深固院は終日にぎわいを見せました。



このほかにも建設技能者組合による刃物研ぎや、お楽しみ抽選会などが行われ、会場は終日活気にあふれました。



▲今年も大勢の人でにぎわいました



みんなでひろげよう！「元気な市民づくり運動」

いのちふれあい体験 ～いのちの大切さを学ぼう～



元気な市民づくり運動
イメージキャラクター
梅太郎

日置市では、市内の中学校と連携して思春期から「いのち」の尊さを学んでもらうことを目的に、中学生を対象に妊婦さんや、赤ちゃんとのふれあい体験を実施しています。

あつたがくてかわいい！



▲赤ちゃん抱っこ体験

今回は、11月16日に伊集院北中学校で行われた「いのちのふれあい体験」の様子を紹介します。

子育ては、かわいいだけでなく、大変なことも一杯あるんだなあ～。

- ❖自分を大切にしていきたい。自分らしく生きたい。
- ❖自分の命が、たくさんの人たちの支えがあってここまで成長できたことが分かった。
- ❖いつも反抗的でごめんなさい。これからも迷惑かけるけどよろしくお願いします。
- ❖自分が生きている事も学校へ通っている事も“あたりまえ”だと思っていた。あらためて「感謝」しないといけないなあと思った。
- ❖産んでくれて、ありがとう！！

～いのちふれあい体験アンケートより～



▲妊婦さんやお母さんから話を聞く生徒たち

体験の中では、妊娠期から生命誕生までの講話や、妊婦さんやお母さん方の体験談を聞いたり、妊娠シミュレーターを用いたりしての模擬体験、また実際に赤ちゃんの抱っこや、赤ちゃん人形を使用しておむつ替えなどの体験を実施しています。

この体験では“**自己肯定感**”（自分は大切な存在だと思える気持ち）を高める事も目的にしており、また、そのことに関しての意識調査も実施しています。「自分のことを好き」と回答した生徒は約2割という結果でした。

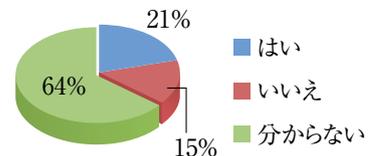
自己肯定感を高めることは、子どもたちだけでなく全世代の方々に共通するテーマです。

授業の中で『**たったひとつの命だから・・・**』のあとに、あなたならどのような言葉を続けますか？という質問を投げかけています。

皆さんは、どのような言葉を思いつくでしょうか？

ときには、家族で命の大切さを語れる機会があるといいですよね (*^_^*)

自分のことを好きですか？



「平成21年度
いのちふれあい体験アンケートより」



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときにお申し出ください。

戸籍の窓

おめでとう

伊集院地域

11月受付分(敬称略)

(出生児)	(保護者)	(自治会)
東 茜依那	義美	宮脇
小佐々明依	寛城	妙円寺五区
吉留亜紀奈	政弥	妙円寺三区
岡村 美香	眞一郎	上之馬場
大徳 有登	芳裕	麓東
諏訪園 伍	格	妙円寺九区
北角 諒成	嘉浩	猪鹿倉
西 尚央	俊一	大田下
森内 音央	良	向江町
新村 月歩	誠	妙円寺三区
杉木 暉歩	拓也	妙円寺三区
山井 康士郎	涼平	猪鹿倉
榎園 花鏡	祐貴	郡下
久徳 丈	佑典	郡山
栗野 響	義行	郡上

東市来地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
福元 光	貴浩	駅前
田口 舜己	達也	元湯
桑木野 獅恩	誠	麓下
尾辻 葉	宗徳	元湯
川路 美奈	峰史	杉之迫

日吉地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
川畑 陽翔	浩和	熊野

おぐやみ

11月受付分(敬称略)

伊集院地域

(故人)	(享年)	(自治会)
和田 清信	84	下土橋
肥後イコエ	86	立野
尾堂 祿郎	71	上土橋
小田原 薩雄	75	妙円寺一区
栗之丸ヨリ子	75	郡内
尾堂 参二	98	上土橋
道正剛三郎	67	上土橋
吉村 隆義	70	飯牟礼中
橋口サチ子	88	上神殿
内門 明	91	つつじヶ丘二区
本村 久志	53	麦生田
末吉 ノブ	90	上方限
新村 高志	75	郡下
宇都 隆洋	68	中川
中村 忠吉	73	妙円寺八区
栗之丸 ユツ	85	中福良

東市来地域

(故人)	(享年)	(自治会)
兄玉 隼任	91	中央
椿森 博	76	永山
岩下 常清	85	杉之迫
東福 克己	91	田代
高田 正美	81	田之湯
田淵 スギ	91	中央
高田 辰巳	79	中山
若元 サヨ	89	城之町

吹上地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
田中 柚希	隆一	西本町
木村 琉真	厚夫	南湯之元

迫 星二	竜一	中区
上田平悠里	拓也	扇尾

日吉地域

(故人)	(享年)	(自治会)
大園 スミ	86	山田
内山チヅ子	79	青松園
古屋鋪正春	91	柿の谷
神野 ミキ	89	南区
枇杷 哲郎	72	八幡
樫元 才藏	74	八幡
田畑 精二	86	八幡
土屋 宗治	72	南区

吹上地域

(故人)	(享年)	(自治会)
岡崎 政幸	50	荳岡
恒吉 ミツ	90	川中
家村フジ子	76	小野馬場
榊井 松男	99	中和内
貴島ミツヨ	89	東宮内
山下 和成	64	西本町
原口 繁	91	花熟里
久保 榮吉	89	亀原
下園ハツエ	84	中和田

※訂正とおわび
 広報ひおき11月号の記事中に誤りがありました。
 次のとおり訂正しておわびします。
 P2「地域運動会」

- 各地域体協表彰 東市来地域
- 幾留キヌエ ゲートボール
- 幾留キヌエ グラウンドゴルフ
- P17「下駄会防犯パトロール隊」
- 内田行男副会長
- 内田次男副会長

「シツタイだれたデ賞」を受賞

第9回KKBふるさとCM大賞2010

鹿児島放送主催の「第九回KKBふるさとCM大賞」に日置市から三作品を出品、その審査会が十月二十九日、鹿児島市で行われました。

今回は、三十一市町村から三十六作品の、アイデアあふれる三十秒のふるさとCMビデオの出品がありました。

本市からは、日置市の市章をモチーフとした「市章編」と吹上浜に沈む夕日を題材とした「夕日編」そして瀬野シツさん(日吉)と城西高校芸術文化コースの五人がテンポ良く歴史を紹介

介する「歴史編」を制作。結果は「歴史編」が「シツタイだれたデ賞」を受賞しました。
 なお「歴史編」は、年間五十本、ほかの二作品はそれぞれ十本ずつ放送される予定です。



▲CM制作に携わった市職員のメンバーと瀬野シツさん(前列中央)

平成23年は農業委員統一選挙の年です

農業委員選挙人名簿の申請について

農業委員選挙の選挙権や被選挙権は、毎年作成される農業委員選挙人名簿に登録されなければ行使できません。

選挙人名簿の登録要件は、毎年1月1日現在で、日置市に住所を有し、20歳以上で次のいずれかの要件を満たす人でなければなりませんのでご注意ください。

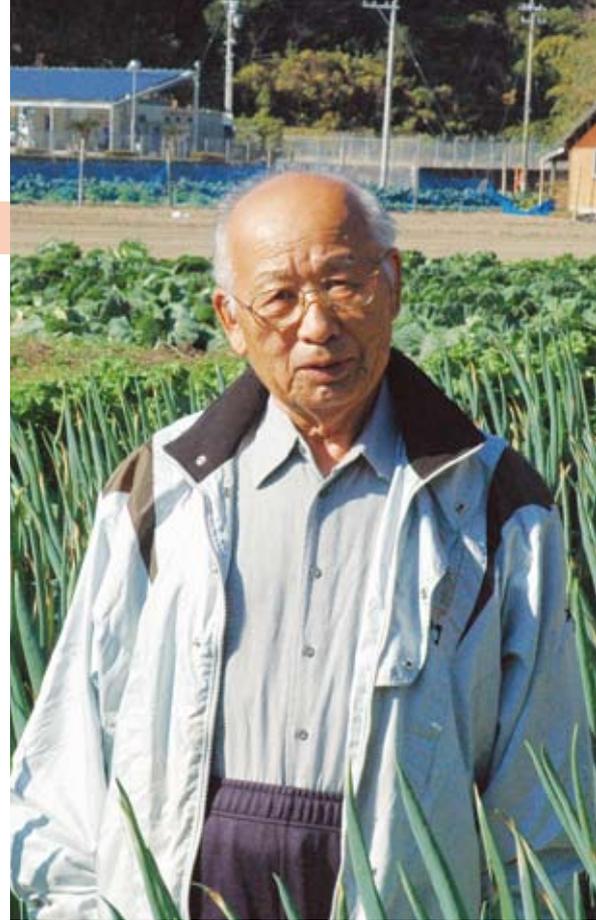
- 10a以上の農地を耕作する人、または、その者と同居の親族で年間60日以上耕作に従事する人
- 10a以上の農地を耕作する農業生産法人の組合員、社員、または株主で、年間60日以上耕作に従事する人

※ 借地の場合は、農地法第3条・農業経営基盤強化促進法による利用権設定が必要です。

※ 12月に自治会文書で申請のお知らせがありますので、申請書の提出をお願いします。

【お問い合わせ先】

本庁農業委員会事務局 Tel. 273-2111
 (内線 1191)



住みよい団地の環境づくりを仲間とともに続けたい

朝日ヶ丘自治会の高齢者クラブ「友々（ゆうゆう）会」の会長として、自ら率先して地域の行事やイベントの運営などで汗を流す傍ら、伊集院地域の高齢者クラブの副会長や、日置地区高齢者クラブの事務局長なども務め、多忙な日々が続いています。

地域では、毎年十一月に文化祭を開催しています。始めたきっかけは「朝日ヶ丘団地の入口にテントを設置して、菊同好会の菊花を鑑賞してもらったこと」でした。しかし、雨や風の影響を考え、平成十年からは公民館で、作品展示や野菜即売会を中心に友々会主催として開催。「その後、自治会や子ども育成会にも呼びかけたおかげで、大勢の方に参加してもらえるようになった」と笑顔で話します。

平成八年には、団地内の朝日ヶ丘幼稚園との交流会も企画。現在も約二百人の園児と高齢者が、芋掘りや、もちつきなどで交流を続け、自治会の子ども育成会とは、昔の遊びや夏祭りの灯籠（とうろう）作り、ミニ門松作りなどで交流を図っています。「ひ孫のような子どもたちと触れ合う機会も少なくなっているの、世代を超えた触れ合いを楽しんでほしい」と上妻さん。また「高齢者と子どもとの交流が活力を生み出す」と話します。

そんな中で楽しむは、野菜を作ること。自慢の畑では大根やキャベツ、ネギなどを栽培。採れた野菜は、文化祭にも提供しました。

「自分の体が健康なうちはまだまだ頑張りたい。これからも、仲間とともに友愛の心を持って、さらなる活動に取り組んでいきたいです」

こうづま
上妻

いさお
勲さん〔83歳〕

伊集院町猪鹿倉（朝日ヶ丘自治会）

- 日置市高齢者クラブ連合会伊集院支部副会長・事務局長
- 日置地区高齢者クラブ協議会事務局長



窪 健太くん（6歳7カ月）
美空ちゃん（4歳5カ月）

父 健一さん 母 亜理沙さん
（吹上町湯之浦）

■おかあさんから

ベイブレードに夢中な健太くん。ピースが上手なみいちゃん。来年は3人きょうだいになって、もっとにぎやかな毎日になるね♪これからも元気に育ってね!!

わんぱく
直送便



與子田 真速くん（5歳9カ月）

父 圭さん 母 万理さん
（吹上町湯之浦）

■星成おにいちゃんから

1年生になったらいっしょに学校に行こうね。こくこ、さんすう、いろいろ教えてあげるね。

元気のある
お子さんの写真を
募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況⑤お子さんへのコメント
⑥広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課（住所は末ページ）までお送りください。



ギャラリー 私の作品展

『革工芸』

家村 厚子さん(78歳) [伊集院町猪鹿倉]

友達のお姉さんに教わって、初めて作った辞書カバーと時計のベルト。その後、自分で作った物を使う喜びを知り、革工芸の世界に引き込まれました。「革工芸の魅力は、1枚の革から切る・縫う・折る・編む・叩く・ねじる・重ねる・染めることによって、いろんな形が作れること」と話し笑顔を見せます。また革製品は、「出来上がったときから使える喜びがあり、使い込むほどなじんできます」とも。今まで開いた個展は20回以上。来年は、革で作ったアクセサリーの個展を開きたいと意気込みます。現在、公民館講座の講師も務める家村さん。「これから多くの人に革工芸の楽しさを教えていきたいですね」



革製の額絵



市民の広場

ウォッチまちの文化財 65

ありかね 永山在兼生誕地 (東市来地域)

東市来出身の永山在兼は、鹿児島から遠い北海道で「阿寒国立公園の父」と呼ばれ、尊敬されている人物です。

在兼は明治22 (1889) 年、東市来村 (現在の東市来地域) で生まれました。大正4 (1915) 年に東京帝国大学 (現在の東京大学) を卒業し、北海道庁に就職しました。以後、多くの道路建設を行い、北海道の開発のため尽力しました。多くの工事が北海道の原野に阻まれた難工事でした。

特に昭和3 (1928) 年に着工した、弟子屈町と阿寒湖を結ぶ道路建設は難工事でした。工事費も20万円以上 (現在の約10億円) になり、激しい反対もされました。在兼は多くの困難を乗り越え、2年がかりで工事を完成させました。この工事で開かれた一帯は昭和9 (1934) 年に阿寒国立公園となり、現在まで続く観光地となりました。在兼の功績は、現地の人々に語り継がれ、弟子屈町と日置市の交流につながっています。

在兼は昭和16 (1941) 年に鹿児島に帰郷し、昭和20 (1945) 年に亡くなりました。墓は東市来文化交流センター前の墓地にあります。

Access

車で、本庁から15分、東市来支所から徒歩2分



永山在兼生誕地の記念碑



世界中の人と友達に

伊作田小学校

六年

永山

佳苗さん かなえ

わたしの夢は、塾の英語の先生になることです。

今、英語を習い始めて半年がたちました。先生は、とてもおもしろくて英語の楽しさを教えてくださいます。塾の帰りに「早く来週にならないかなあ」と思うくらいです。

学校では、ALTのロビー先生が、月に一回教えてくださいます。先日、一緒に給食を食べたとき、恥ずかしくて何も話せませんでした。でも、友達の質問に先生が答えられ

るのを聞いて、意味が何となく分かりうれしかったんです。また、テレビや新聞などでよく英語が使われます。今まで、母に「何と読むの」と聞いていましたが、少しずつ自分で読めるようになり、ますます英語が楽しくなりました。塾の先生は、いろいろな国でホームステイをしたときの話もしてくださいます。わたしも、世界中に外国の友達をたくさんつくって、いろいろな話を楽しみたいです。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	51,679人 (12)
男	24,219人 (△1)
女	27,460人 (13)
世帯数	22,565 (12)
12月1日現在 ()は前月比	
東市来地域	12,611人
伊集院地域	24,630人
日吉地域	5,459人
吹上地域	8,979人

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「疾走する馬上からの射抜く」
1538年に島津忠良公が勝利を祈願したのが始まりとされる伊作流籠馬。人馬はさっそうと駆け抜け、見事的な射抜きを遂げた。

「伊作流籠馬奉納」(吹上)
P 18 関連記事

平成21年度において、国が地域活性化・公共投資臨時交付金事業により地域情報通信基盤整備推進交付金事業(財源内訳:国1/3、市2/3)や、携帯電話等エリア整備事業(財源内訳:国2/3、県1/5、市40/315、通信事業者^{23/315})など特定補助金について、市



携帯電話の使い方教室を開催

9月下旬から試験電波を発信し、10月31日には、高山地区公民館で携帯電話の使い方教室を開催、地域の方々40人ほどが参加しました。

鮫島育朗館長は「これまで、携帯電話がつかないことで緊急時の連絡、対応など支障をきたしていたが、今後は、地域の見守りなど地域の課題を解決するために積極的に活用していきたい」と話しました。

負担額のうち約93%の交付を決めたことから、東市来地域3局(高山野下、高山高塚、高山尾木場)吹上地域6局(永野、田之尻、平鹿倉、今木場北、竜之瀬、日添)の光ファイバ敷設と鉄塔・無線通信施設(高山高塚と高山尾木場を除く)の整備を市が行い、NTTドコモに貸与することで携帯電話不通話地域の解消に取り組みました。

東市来と吹上地域で携帯電話のエリア拡大

不通話地域解消!



なぜ、NTTドコモだけなの?
通信事業者に対して総務省が照会を行ったところ、日置市の不通話解消について、NTTドコモだけが参画表明したためです。

電波状況についてのお問い合わせは、
「NTTドコモ」お客様サポート」まで
一般電話からの場合
TEL 0120-8000-0000
(ガイダンスの後、0を押してください)

No.68 平成22年12月号

発行/日置市役所 総務企画部企画課
〒899-2592 日置市伊集院町第一丁目100番地
TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063
東市来支所 TEL 099 (274) 2111
日吉支所 TEL 099 (292) 2111
吹上支所 TEL 099 (296) 2111

http://www.city.hioki.kagoshima.jp/